アンケート調査の実施について

1. 調査目的

「第2期伊勢市環境基本計画」の策定にあたり、市民及び事業者の環境に対する意識や、環境保全の取組状況等を把握することを目的として、アンケート調査を実施する。

2. 調査対象

調査対象は以下のとおりとする。

市 民:住民基本台帳から無作為抽出した市民 1,000 世帯

事業者: 伊勢市内に本社・支店を置く民間事業者 1,000 事業所

大学生:皇學館大学の学生約●●名

3. 調査方法

調査方法は、市民及び事業者については郵送配布・郵送回収とし、大学生については、大学を通じて配布・回収を依頼することとする。

なお、意識調査の実施にあたり、伊勢市ホームページにて事前周知を図る。

4. 調査時期

調査結果を第2期伊勢市環境基本計画の策定に反映させるため、平成26年7月~8月に調査を 実施する。

詳細なスケジュール(案)は以下のとおり。

<スケジュール(案)>

平成26年6月 調査票案(市民用、事業者用)の設計

7月 環境審議会において調査票案を審議

調査票の修正、確定

※修正した調査票は、発送前に審議会委員に配布・確認

調査票発送、回収

※発送から回収までの期間は概ね2週間を想定

8月 集計·分析

9月 集計・分析

環境審議会にて調査結果(速報値)報告

11月 環境審議会にて調査結果報告

5. 調查項目

調査項目は、「第2期伊勢市環境基本計画策定の基本的な考え方(資料1参照)」を十分に踏まえ、環境施策の見直し・追加につながる市民・事業者ニーズを引き出す調査項目を設定することとする。

■市民 (大学生)

分類	番号	設問内容	ねらい・分析方針等
伊勢市の 環境につ いて	問 1	伊勢市がめざすまちの姿につ いて	・現行計画策定時の「伊勢市の環境の良いところ・悪いところ」の設問を基に設定 ・現行計画策定時の結果も踏まえ、今後重 点的に取り組むべき分野を明確にする
	問 2	伊勢市が重点的に取り組むべ き施策について	・現行計画における市の取組内容を基に 設定 ・重点的に取り組むべき、または、見直し を図るべき環境施策を整理する
環境保全 の取組状 況につい て	問 3	環境保全の取組状況について	・現行計画における市民の取組内容を基 に設定 ・現状で十分取り組まれている、または、 取り組まれていない取組内容を明確に する
	問 4	環境保全の取組を促進するた めに必要なことについて	・新規に設定 ・現状で十分に取り組まれていない取組 内容を促進するための方策を検討する
	問 5	環境保全に関連した市民活動 への取組状況について	・新規に設定 ・今後、市民が主体となった環境保全の 取組が期待できる分野を明確にする
	問 6	取り組んでいる市民活動の内 容について	・現行計画と同様の設問を設定 ・市民活動の取組内容を把握する
	問 7	市民活動に取り組んでいない、 取り組みたくない理由につい て	・新規に設定 ・市民活動を促進するための方策を検討 する
回答者属	問 8	性別	・クロス集計の分析軸として使用する
性につい て	問 9 問 10 問 11	年齢 居住地区 居住年数	
その他		環境に関するご意見・ご感想	・自由記述のキーワードから環境施策を 検討する

■事業者

分類	番号	設問内容	ねらい・分析方針等
事業活動 自体に関 する環境 保全の取 組状況に ついて	問 1	環境保全の取組状況について	・現行計画における事業者の取組内容を 基に設定 ・現状で十分取り組まれている、または、 取り組まれていない取組内容を明確に する
	問 2	環境保全に取り組むメリット について	・新規に設定 ・事業所における環境保全の取組を促進
	問 3	環境保全に取り組む上での課 題について	するための方策を検討する
社会貢献 に関する 環境保全 の取組状 況につい	問 4	環境保全の取組状況について	・現行計画における事業者の取組内容を 基に設定・現状で十分取り組まれている、または、 取り組まれていない取組内容を明確に する
7	問 5	環境保全に取り組むメリット について	・新規に設定 ・事業所における環境保全の取組を促進
	問 6	環境保全に取り組む上での課 題について	するための方策を検討する
回答事業	問 7	業種	・クロス集計の分析軸として使用する
所属性に	問 8	規模	
ついて	問 9	所在地区	
	問 10	伊勢市在所年数	
	問 11	公害関連法令の適用	
その他	_	環境に関するご意見・ご感想	・自由記述のキーワードから環境施策を 検討する